

## 2023年度の温室効果ガス排出量

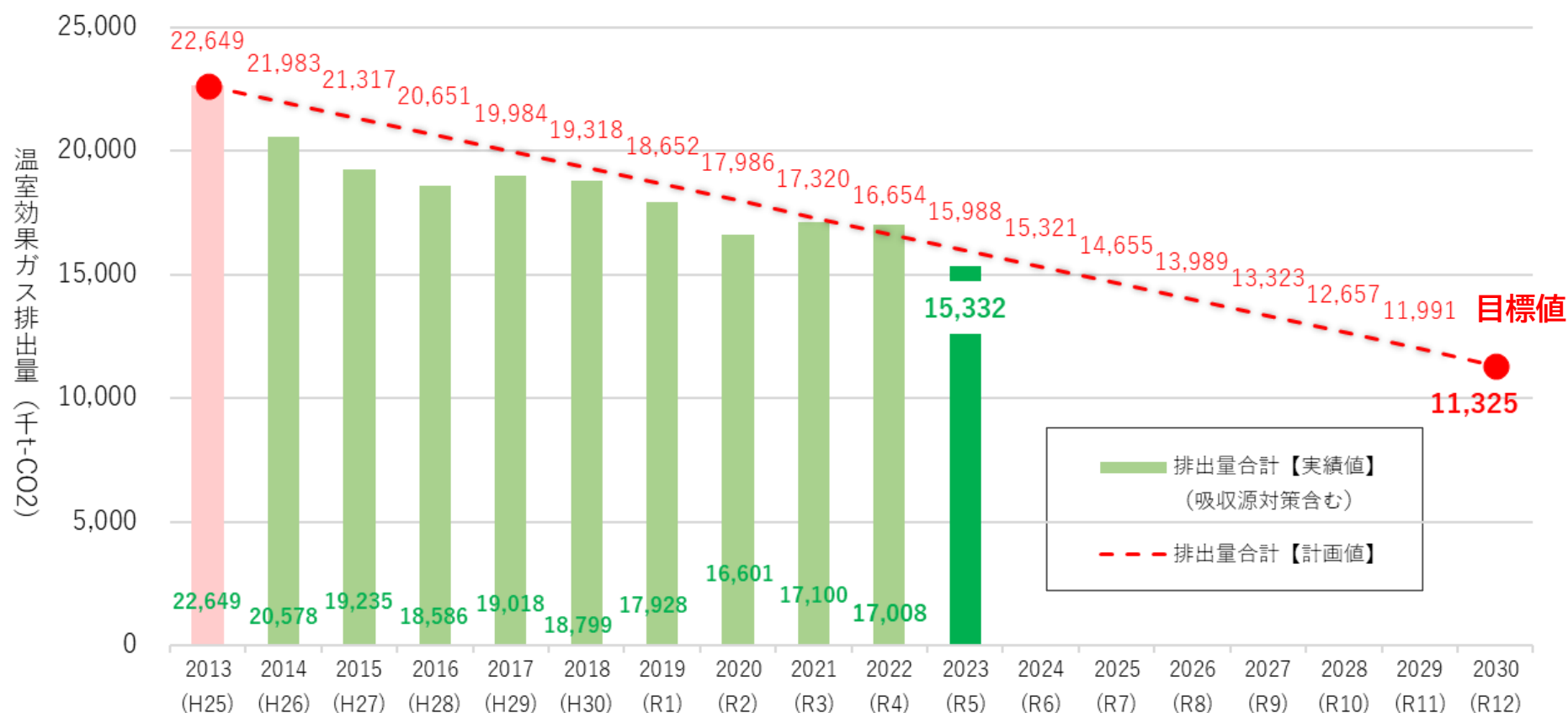
**2030年度の削減目標**：基準年度（2013年度）比 **50% 削減**  
 (22,649千t-CO<sub>2</sub> → 11,325千t-CO<sub>2</sub>)

- 温室効果ガス排出量（森林等吸収量を含む）は**15,332千t-CO<sub>2</sub>**で、前年度比▲9.9%、基準年度（2013年度）比▲**32.3%**となった。この削減量は、同年までの計画値▲29.4%を達成している。
- 前年度からの減少要因としては、電力排出係数の減少が主なものだが、産業部門における再エネ導入や、家庭部門における省エネ化によりエネルギー消費量についても着実に減少している。

### ■部門別の状況

産業部門（製造業等）	3,921千 t	前年度比 ▲12.9%	基準年度比 ▲26.7%
業務部門（オフィス等）	2,670千 t	同 ▲12.1%	同 ▲42.4%
家庭部門	2,515千 t	同 ▲19.4%	同 ▲42.7%
運輸部門（旅客・貨物）	3,873千 t	同 ▲0.8%	同 ▲16.6%

- 森林等吸収量は1,114千t-CO<sub>2</sub>で、前年度比▲12.3%、基準年度比▲15.4%。前年度から減少に転じており、計画値を下回っている。



## <部門別の温室効果ガス排出量>

区 分		基準年度 (2013)	目標年度 (2030)		2023 (R5)				
		排出量 (千 t)	排出量 (千 t)	対基準年度 (%)	排出量 (千 t)	構成比 (%)	対前年 度 (%)	対基準年度 (%)	目標年度 までの 必要削減量 (千 t)
エネルギー起源		20,196	10,868	▲46.2	14,129	85.9	4.6	▲22.1	3,261
(エネルギー 起源内訳)	エネルギー 転換	1,173	1,114	▲5.0	1,149	7.0	▲1.0	▲2.0	35
	産 業	5,348	3,662	▲31.5	3,921	23.9	▲12.9	▲26.7	259
	業 務	4,639	1,618	▲65.1	2,670	16.2	▲12.1	▲42.4	<b>1,052</b>
	家 庭	4,390	1,603	▲63.5	2,515	15.3	▲19.4	▲42.7	<b>912</b>
	運 輸	4,645	2,870	▲38.2	3,873	23.5	▲0.8	▲16.6	<b>1,003</b>
非エネルギー起源		900	674	▲25.1	940	5.7	▲0.5	4.4	266
その他ガス		1,553	1,144	▲26.3	1,377	8.4	▲14.3	▲11.3	233
<b>排出量計</b>		<b>22,649</b>	<b>12,686</b>	<b>▲44.0</b>	<b>16,446</b>	<b>100.0</b>	<b>▲10.0</b>	<b>▲27.4</b>	<b>3,760</b>
森林等吸収量		▲1,316	▲1,316	基準年 以上	▲1,114	—	▲12.3	▲15.4	202
<b>合 計</b> 森林等吸収量含む		(22,649)	<b>11,325</b>	<b>50.0</b>	<b>15,332</b>	—	<b>▲9.9</b>	<b>▲32.3</b>	<b>4,007</b>

○2030年度の目標達成に向けては、「業務（オフィス）部門」「運輸部門」をはじめ、各部門の脱炭素の取組が必要

○令和8年度の重点対策

- ✓ 事業所・住宅における省エネ改修、自家消費型太陽光発電設備導入の促進
- ✓ 運輸部門における環境配慮車導入の促進
- ✓ 「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050県民会議」や環境配慮行動促進アプリ等を通じ、節電や再配達防止など、家庭・オフィスにおける県民一人ひとりの脱炭素の取組の促進

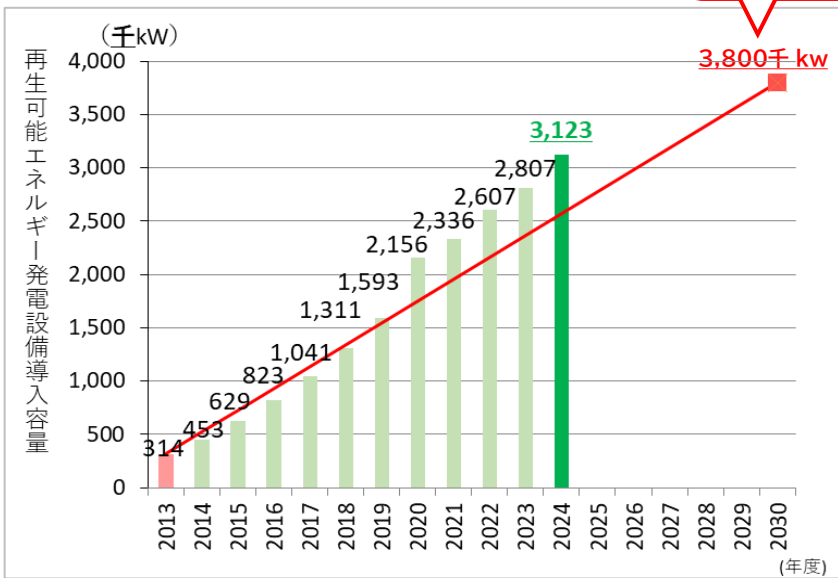
# 目標指標の進捗 (1)

■ 現況値 ■ 基準年度値 ■ 2030年度の目標値 計画値 ———

## 施策 (1) 再エネ等の導入促進

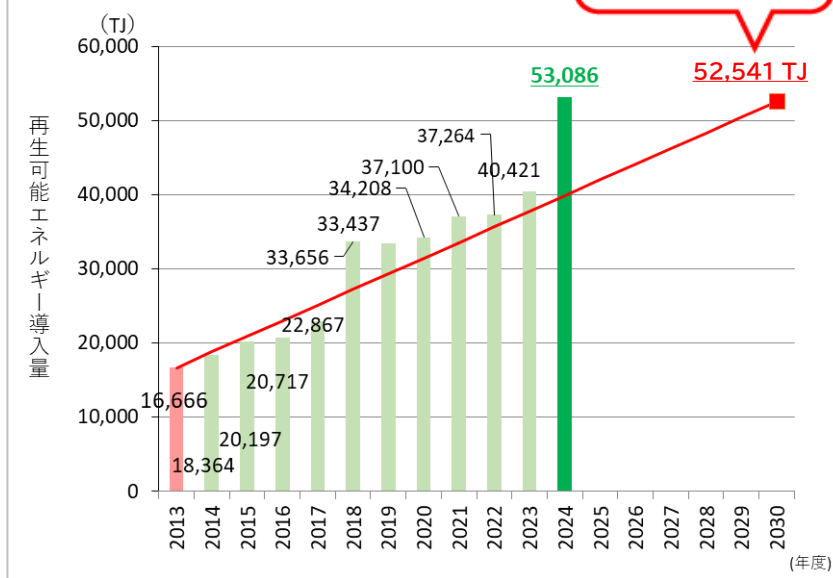
### 目標指標①：再エネ発電設備導入容量

基準年度比  
12.1倍増加



### 目標指標②：再エネ導入量

基準年度比  
3.2倍増加



### 目標指標③：水素の利活用

FC商用車等  
導入拡大

【普及台数】135台 (R6年度末時点)  
【水素ST】2基稼働中 (仙台市、岩沼市)

【FC商用車の例】

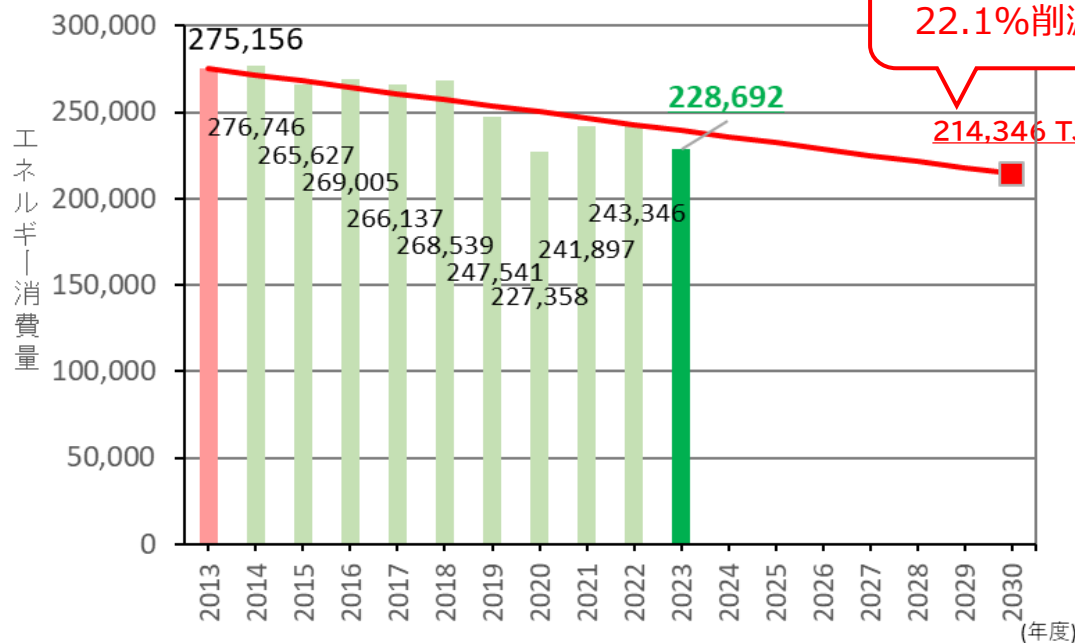
FCバス (1台路線運行中)      FCVタクシー (6台運行中)

FC小型トラック(イメージ) <出典：環境省>

## 施策 (2) 事業者・住民の省エネの推進

### 目標指標：エネルギー消費量

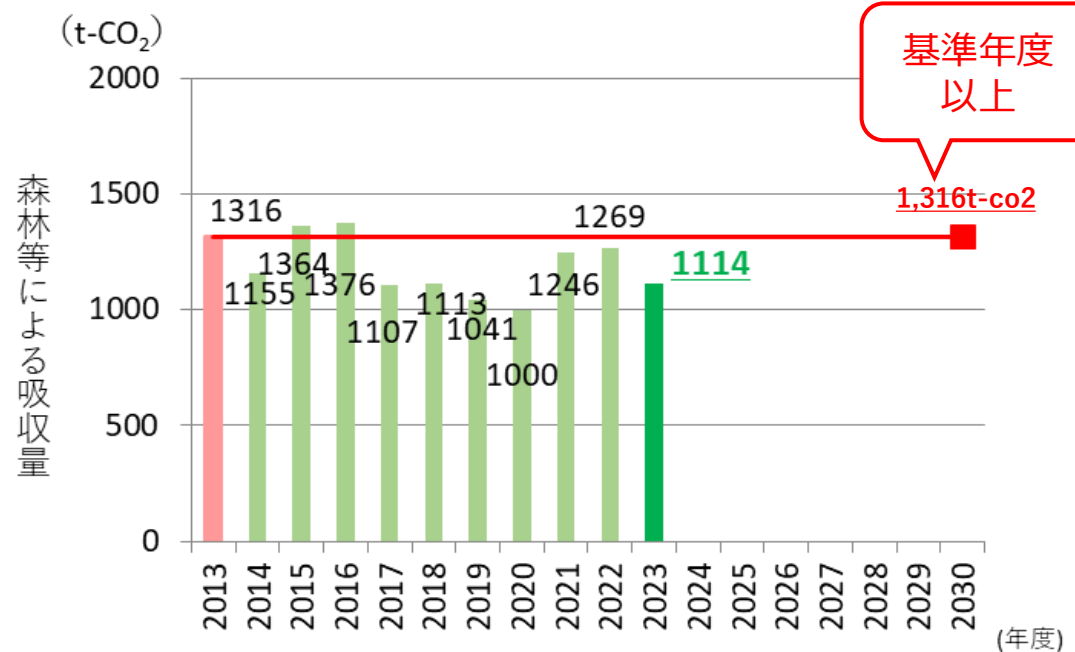
基準年度比  
22.1%削減



## 施策 (3) 吸収源対策の推進

### 目標指標：森林等による吸収量

基準年度  
以上

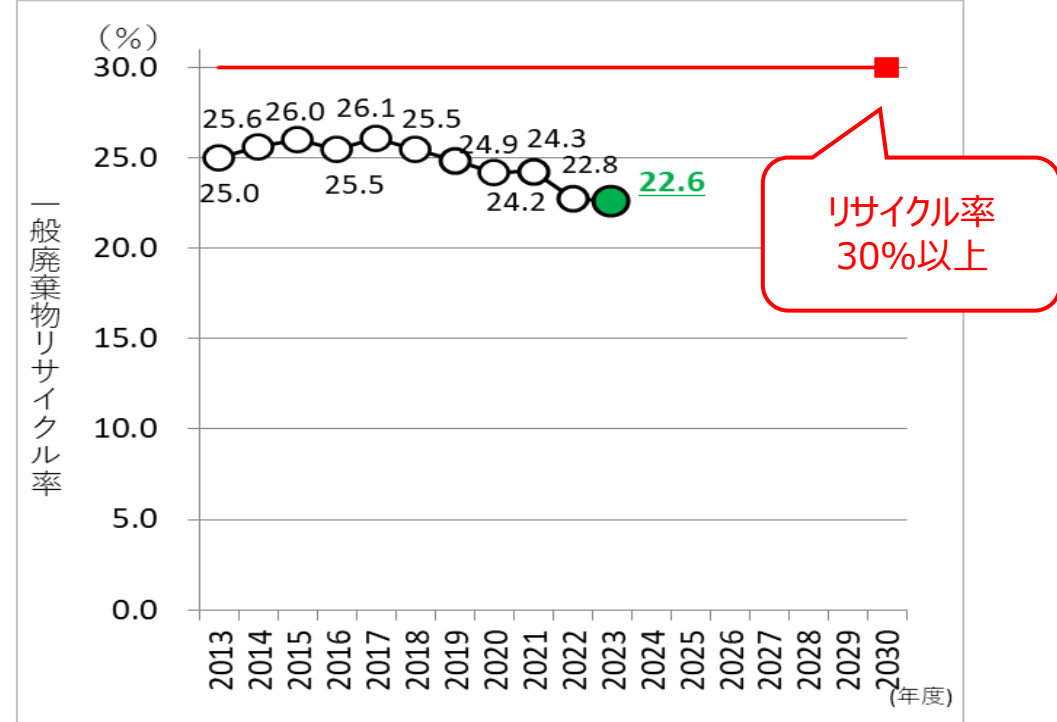
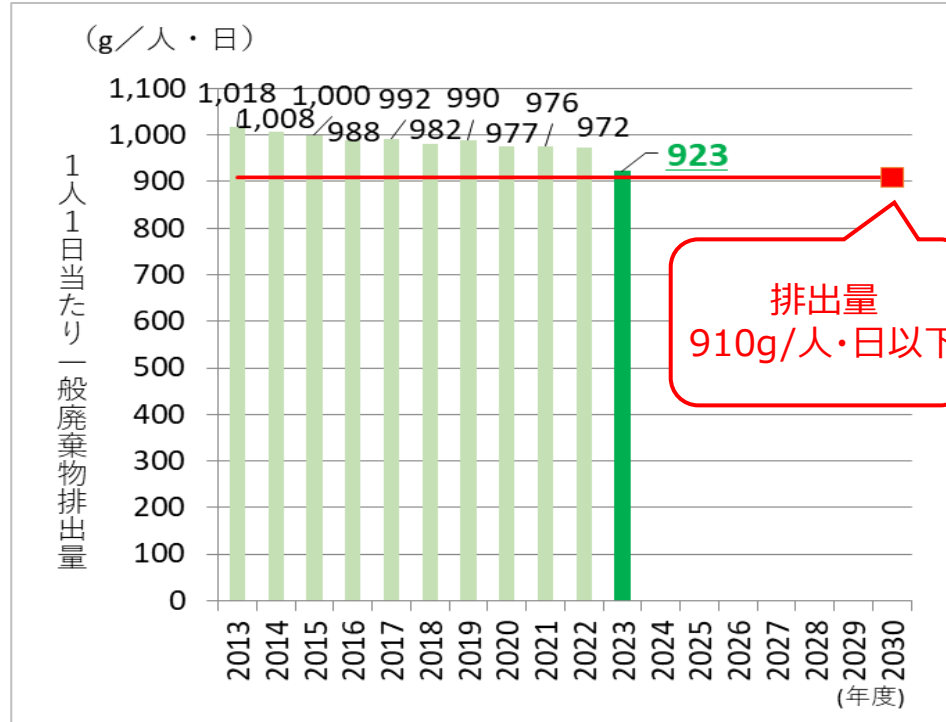


# 目標指標の進捗 (2)

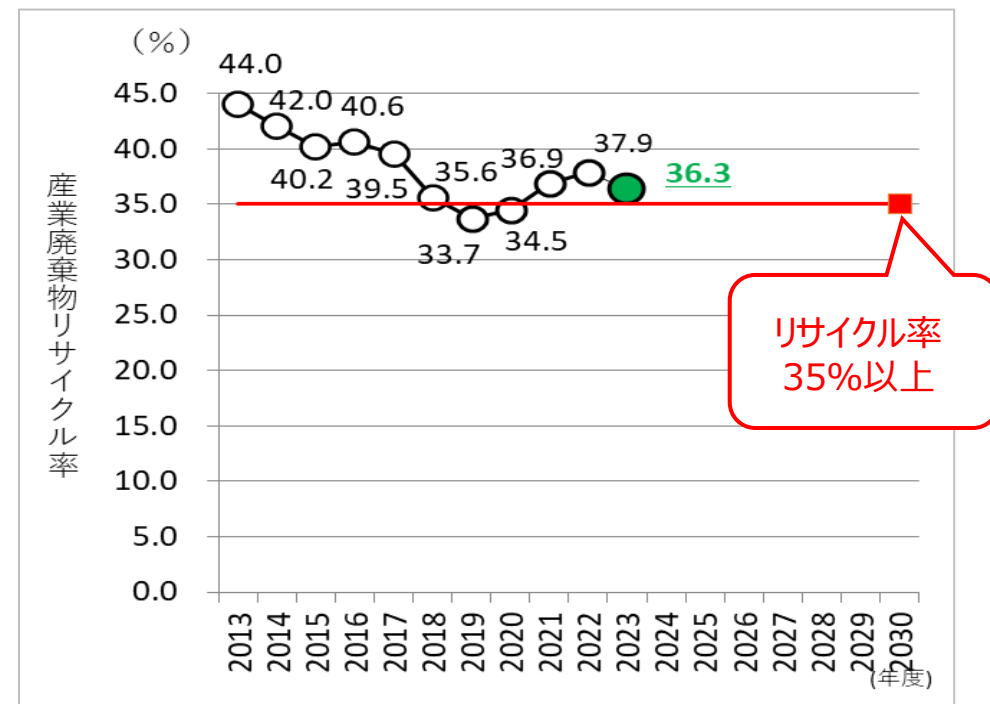
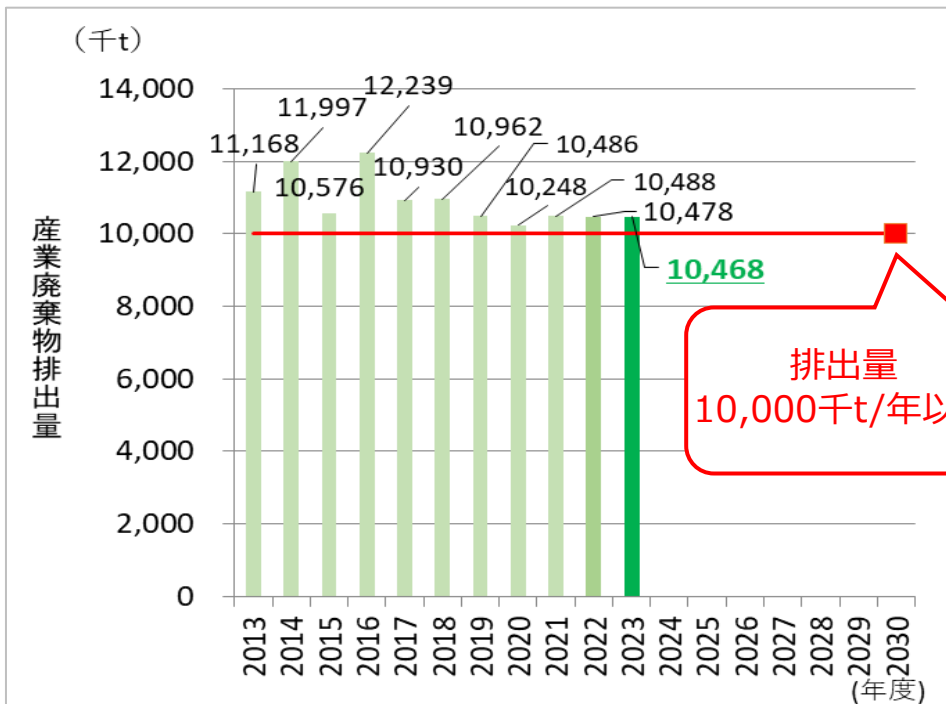
■ 現況値 ■ 基準年度値 ■ 2030年度の目標値 計画値 ———

## 施策 (4) 循環型社会の形成

### 目標指標① : 一般廃棄物(排出量、リサイクル率)



### 目標指標② : 産業廃棄物(排出量、リサイクル率)



# 目標指標の進捗 (3)

## 施策 (5) 事務事業における排出削減

### ■ 趣旨

- 「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050戦略」(R5年3月)では、県の事務事業における温室効果ガス排出削減量を2030年度までに基準年度(2013年度)比で51%削減する目標を掲げ、県も一事業主体として、気候変動対策に取り組んでいる。

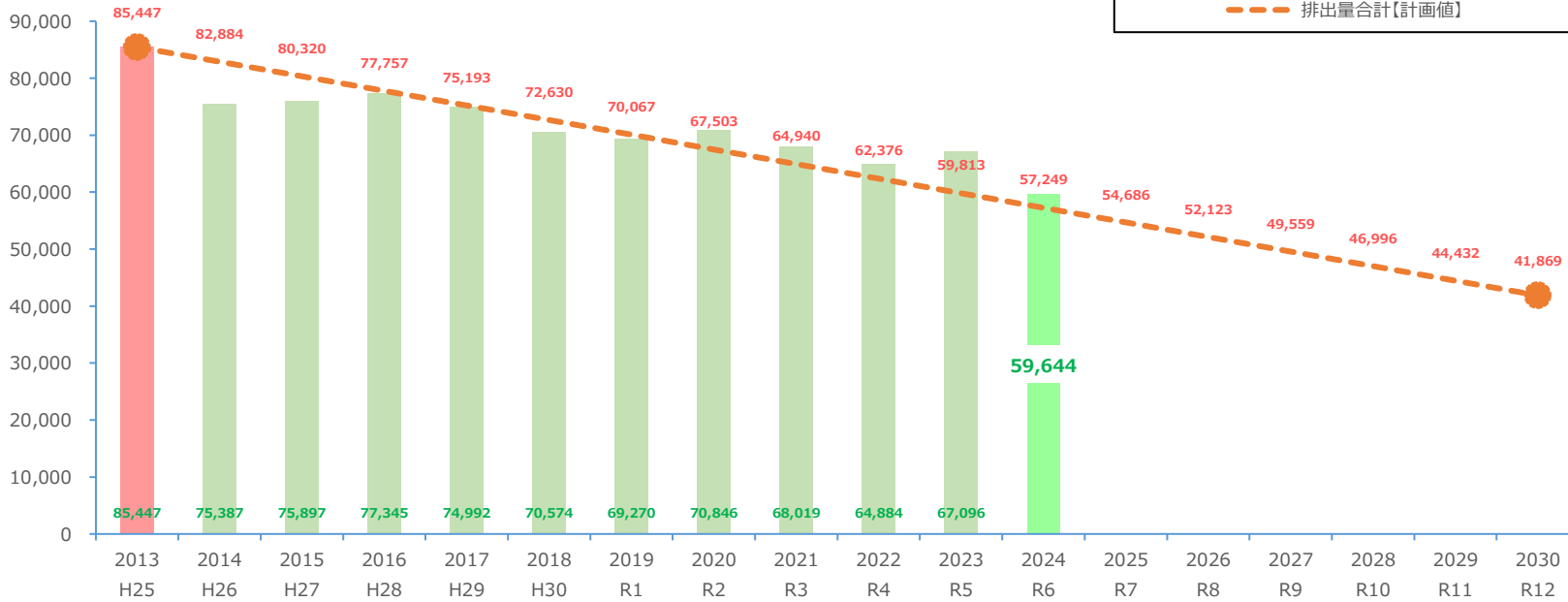
### ■ 温室効果ガス削減目標

基準年度(2013年度)比 **51%削減**  
(85,447 t-CO2 → 41,869 t-CO2)

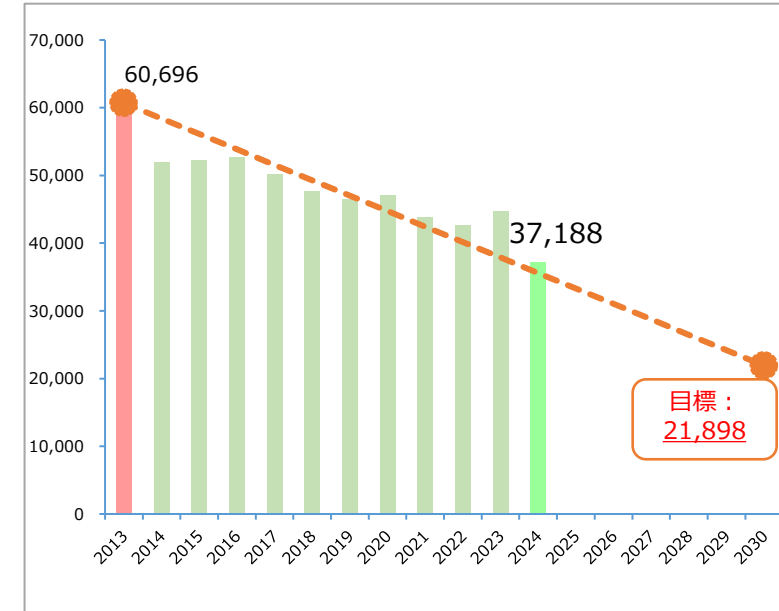
### ■ 2024年度温室効果ガス排出量

計画値: 57,249 t-CO2 → 実績値: **59,644** t-CO2  
(2013年度比33%削減) (2013年度比**30.2%**削減)

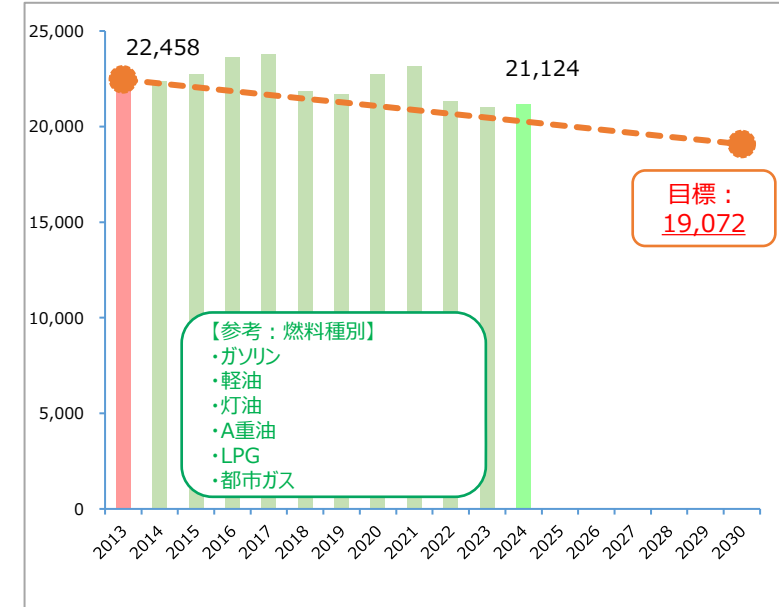
CO2排出量(t-CO2)



<補助指標①:「電気」使用に伴う温室効果ガス排出量 (t-CO2) >



<補助指標②:「燃料」使用に伴う温室効果ガス排出量 (t-CO2) >



## 2030年度の目標達成に向けた主な取組(R6年度)

### <再生可能エネルギーの導入>

- 目標: 太陽光発電を2,000kW以上導入
- 現状: 787kW(32施設) → 1,066kW(47施設)  
2023年度 → 2024年度

### <徹底した省エネ化の推進>

● 目標: 電気は2,600MWh以上削減、燃料は16%削減

#### <LED化>

- 目標: 100%更新
- 現状: 31.9%  
2024年度

#### <環境配慮車の導入> ※特殊車両除く

- 目標: 55%以上導入
- 現状: 26.8% → 30.7% (1,690台中518台)  
2023年度 → 2024年度